

H2O 資源循環フォーラム「Tsugu.」 ～モノを巡らせ、想いをつなぐ。～ 11 月 26 日(木)に開催

現場スタッフや次世代、有識者と考える「モノと“想い”が巡る循環社会」

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：荒木 直也、以下「当社」「H2O」）は、2026 年 11 月 26 日（木）、大阪・梅田の「Blooming Camp（ブルーミングキャンプ）」にて、「地域と共創する資源循環」をテーマにした「H2O 資源循環フォーラム『Tsugu.（つぐ）』」を開催いたします。

当社は 2024 年より、地域の生活者・事業者・行政が連携した循環型社会の構築を目指し、「資源循環シンポジウム」を毎年開催してきました。3 回目となる今回は、従来の「シンポジウム（発表・事例共有の場）」から「フォーラム（多様な主体の対話と共創の場）」へと名称と内容を刷新。また、前回の「食」を中心としたアプローチを「衣料品」の領域へと拡張します。

本フォーラムでは、単にモノを回収・再利用する効率性にとどまらず、「手放す・託す人の想い」や「地域住民の温かいつながり」という“感情・関係性の循環”に焦点を当てます。さらに、有識者による講演を通して「これからの資源循環のあり方」を探ります。生活者一人ひとりの「自分ゴト」が地域全体の「みんなゴト」へと広がるサーキュラーエコノミーの実現を目指します。

■ 開催概要

- 名 称：H2O 資源循環フォーラム「Tsugu.（つぐ）」～モノを巡らせ、想いをつなぐ。～
日 時：2026 年 11 月 26 日（木）午後 2 時～5 時 30 分（開場・受付 1 時 30 分～ 交流会 5 時～）
会 場：「Blooming Camp」（大阪市北区大深町 6-38 グラングリーン大阪 北館
JAM BASE 3 階 さくらインターネット株式会社）
開催形式：会場参加 + オンライン配信（Zoom によるライブ配信）
定 員：会場 70 名（先着順・要事前予約）
参 加 費：無料
主 催：エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
協賛（共創パートナー）：株式会社高島屋 株式会社阪急阪神百貨店
後 援：大阪府 ザ・コンシューマー・グッズ・フォーラム
運営委託：株式会社ブロックス
対 象：資源循環、廃棄物削減、地域共創、サステナブルな暮らしに関心のある方

【一般参加の方のお申し込み】

右記の二次元コードまたは以下申し込みフォームより、必要事項（お名前・ご所属・参加形式 [会場またはオンライン]）をご記入のうえお申し込みください。

受付窓口：<https://forms.gle/DEPS3uzgggBbtubs6>（運営委託：株式会社ブロックス）

受付期間：2026 年 11 月 1 日（日）～23 日（月・祝）

※会場は定員（70 名）に達し次第、受付を終了します

問い合わせ先：H2O サステナビリティ推進室 sustainability@h2o-retailing.co.jp



■ 今回のポイント

1. シンポジウムから「フォーラム」へ

事例紹介にとどまらず、さまざまな立場の登壇者によるパネルトークや、参加者との双方向コミュニケーションツールの活用など、対話型プログラムを拡充。

2. 資源循環の領域の拡張

地域の食品廃棄削減の最前線から、衣料品の循環（高島屋「Depart de Loop」）まで幅広く展開。

3. 企業の垣根を越えた現場対話

株式会社高島屋、株式会社阪急阪神百貨店、株式会社関西フードマーケット※の実務担当者と次世代を担う学生が登壇し、現場でのリアルな気づきや生活者の想いを語り合う。

※H2O グループで食品スーパーを運営する事業会社

4. 多彩なトップランナーの登壇

サーキュラーエコノミーの専門家・加藤 佑 氏（アーティクル代表）や、コミュニティ・関係人口づくりの旗手・指出 一正 氏（『ソトコト』編集長）を迎え、これからの循環型社会のあり方を探る。

■ プログラム（概要）※登壇者や各演題のスケジュールなど、くわしくは添付のチラシをご覧ください

第1部：オープニング・基調講演（午後2時～2時30分）

第2部：想いをつなぐパネルトーク（午後2時30分～3時30分）

第3部：共創アプローチと機運醸成（午後3時40分～4時50分）

ネットワーキング：交流会※（午後5時～5時30分）※会場参加者のみ

■ 主な登壇者プロフィール（登壇順）

第1部：加藤 佑（かとう ゆう）氏（アーティクル株式会社 代表取締役）

サーキュラーエコノミー専門メディア「Circular Economy Hub」やサステナビリティ領域の事業プロデュースを手掛ける。国内外のサーキュラーエコノミー推進プロジェクトや自治体・企業の支援に深く携わる。

第2部：平井 巧（ひらい さとし）氏（株式会社honshoku 代表取締役 / 一般社団法人フードサルベージ 代表理事）

食のクリエイティブチーム honshoku 代表。家庭の余剰食材を使った即興料理イベント「サルベージ・パーティ」を全国展開するなど、生活者目線での食品ロス削減や食の循環・コミュニケーションデザインを実践。

第3部：指出 一正（さしで かずまさ）氏（株式会社ソトコト 代表取締役社長 / 『ソトコト』編集長）

「ソーシャル&エコ」をテーマにした雑誌『ソトコト』編集長として、全国各地の関係人口創出や地域コミュニティづくり、ソーシャルグッドなライフスタイルの普及に尽力。内閣府・環境省などの委員を歴任。

第3部：石川 雅紀（いしかわ まさのぶ）氏（叡啓大学 副学長・特任教授 / 神戸大学 名誉教授）

環境経済学、廃棄物・資源循環政策の第一人者。長年にわたり環境省などの審議会委員を務め、市民・行政・事業者の協働による循環型社会の構築について理論と実践の両面から提言を続けている。

本件に関する報道関係者のお問い合わせ

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL 06-6367-3181

【 ご参考 】

【 H2O グループのサステナビリティ経営 】

H2O グループは、「地域住民への生活モデルの提供を通して、地域社会になくてはならない存在であり続けること」を基本理念に掲げています。グループビジョンは「『楽しい』『うれしい』『おいしい』の価値創造を通じ、お客さまの心を豊かにする暮らしの元気パートナー」です。

百貨店、食品スーパー、ショッピングセンターなど生活に密着した事業特性を生かし、地域のステークホルダーとともに持続可能な地域社会づくりを推進しています。

サステナビリティ経営の推進にあたっては、3 つの重点テーマと 2 つの基本テーマをグループの重要課題(マテリアリティ)に位置づけています。

3 つの重点テーマ	2 つの基本テーマ
① 地域の「絆」を深める	④ お客さま・ステークホルダーからの「信頼」に応える
② 地域の「子どもたち」を育む	⑤ 従業員の「働きがい」を高める
③ 豊かな「地域の自然」を守り、引き継ぐ	

■ 「Tsugu.(つぐ)」に込めた想い

「Tsugu.」は、日々の買い物や食べる、着る、暮らすといった何気ない営みのなかで、「わたしで終わり」にするのではなく、「わたしから誰かへ」想いやモノを継いでいく、地域共創の取り組みです。私たちは、これまで「売る」ことを中心に歩んできました。しかしこれからは、地域に暮らす方々とともに、未来へバトンをつなぐ「循環の拠点」でもありたいと考えています。無理なく、心地よく、日々の暮らしに溶け込む選択の積み重ねから、地域社会に新しいつながりと「ちょっといい未来」を耕していきます。

■ 「Tsugu.」の資源循環の取り組み

◎食とわ

家庭の生ごみをコンポストで堆肥に変える活動や料理体験を通じ、食の循環と温かい地域コミュニティを育むプロジェクトです。身近な暮らしから持続可能な未来をつくれます。

◎大阪森の循環促進プロジェクト

地元産木材の活用や森林保全を通じ、健全な森の循環を目指す取り組みです。グループ店舗の売場づくりやワークショップなどを展開し、地域とともに豊かな森林資源を未来へ引き継ぎます。

◎フクのツナギ箱

不要になった衣類を回収し、再販や再資源化へとつなげる地域参加型の衣料品循環プロジェクトです。一人ひとりの想いと服を大切に引き継ぎ、持続可能なファッションの循環を実現します。

◎フードドライブ

家庭で食べきれない未開封食品を持ち寄り、地域の福祉団体や子ども食堂などへ届ける活動です。食品ロス削減と生活支援を同時に叶え、「もったいない」を地域社会の笑顔へとつなぎます。

H2O 資源循環フォーラム Tsugu.

——モノを巡らせ、想いをつなぐ。——



食べる、着る、暮らす。日々のちいさな選択から、
わたしの「良くしたい」「変えたい」が、だれかの明日にめぐっていく。
一人ひとりの「自分ゴト」を、地域の「みんなゴト」へ育てるフォーラム。

2026.11.26 木 午後2時-5時30分
Blooming Camp ※要予約 ※参加無料

大阪市北区大深町6-38 グラングリーン大阪 北館 JAM BASE 3階 さくらインターネット株式会社

主 催： エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
協 賛： 株式会社高島屋 株式会社阪急阪神百貨店
後 援： 大阪府 ザ・コンシューマー・グッズ・フォーラム
定 員： 会場 70名 ※Zoomによるライブ配信も実施
プログラム： くわしい内容は裏面をご参照ください

ご予約

右記の二次元コードのご利用、または下記のGoogleフォームのURLより、
必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。（運営委託会社：株式会社ブロックス）

<https://forms.gle/DEPS3uzgggBbtubs6>

受付期間：11月1日(日)～23日(火・祝)

〈お問い合わせ〉 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

経営企画グループ サステナビリティ推進室 sustainability@h2o-retailing.co.jp



私たちが暮らす地域社会を、より豊かに未来へつないでいくための「循環型社会」。
それは事業者や行政の仕組みづくりだけで完結するものではなく、日々の暮らしを営む生活者一人ひとりの意識や、ささやかな選択から生まれます。
H2Oは川西・宝塚・梅田などでの食品廃棄ゼロへの挑戦や、生活者の行動変容を促す共感の輪づくりを重ねてきました。店頭のフードドライブで託される食品に添えられた温かいひと言、家庭の生ごみが堆肥となり花を咲かせる喜びなど、現場にはいつも「手放す・託す人の想い」と「人と人とのつながり」がありました。
3回目となる今回は、従来の情報伝達型「シンポジウム」から、さまざまな声が行きかう「フォーラム」へとアップデートしました。
単なる「モノの回収」や「効率的なリサイクル」を超えて、ひとの想いや体温が通い合うサーキュラーエコノミーとはどのようなものか……有識者による情報提供はもちろん、百貨店やスーパーで生活者と向き合う現場スタッフ、持続可能な社会を担う次世代の学生、そして皆さまとともに、明日からの暮らしをちょっと良くしていく、変えていくヒントを探求します。

プログラム ※事情により時間が前後する場合がございます

第1部 オープニング・基調講演

14:00 主催者あいさつ

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 代表取締役社長 荒木 直也

14:05 基調講演 モノを巡らせ、想いをつなぐ。地域で育むサーキュラーエコノミー

アーティクル株式会社 代表取締役 加藤 佑氏

第2部 想いをつなぐパネルトーク

14:30 パネルトーク モノと想いが行き交う、フードドライブの現場から

——なぜ、店頭に「お客さまの想い」が集まるのか——

【モデレーター】

株式会社honshoku 代表取締役社長／一般社団法人フードサルベージ 代表理事 平井 巧氏

【パネリスト】

株式会社高島屋 大阪店 企画宣伝部 営業政策担当 佐々木 大輔氏

株式会社阪急阪神百貨店 川西阪急 総務部ディビジョンマネージャー 松岡 千里

株式会社 関西フードマーケット コーポレート企画室 サステナビリティ推進担当

ディビジョンマネージャー 梶原 幸一

関西学院大学 谷口 実咲氏

甲南大学 玉岡 穂ノ佳氏

15:30 休憩

第3部 共創アプローチと機運醸成

15:40 【講演】 高島屋グループの循環型プロジェクト「Depart de Loop」

株式会社高島屋 営業本部 営業企画部 営業企画担当 原田 璃佳子氏

15:55 【講演】 地域と暮らしのあいだに循環をデザインする 地域共創活動「食とわ」

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 経営企画グループ サステナビリティ推進室 室長 西田 哲也

※「食とわ」は「2026年度グッドデザイン賞」を受賞しました

16:10 【講演】 まちをワクワクさせるローカルプロジェクト

——関係人口、サステナビリティからウェルビーイングまで——

株式会社ソトコト 代表取締役社長／「ソトコト」編集長 指出 一正氏

16:40 【総評／閉会あいさつ】

叡啓大学 副学長・学部長・特任教授／神戸大学 名誉教授 石川 雅紀氏

16:50 終了（ライブ配信は閉会あいさつまで）

17:00 【交流会】会場ならではのネットワーキングにぜひご参加ください